

体外衝撃波疼痛治療術による踵骨骨折

症例 34歳 男性

職業 歯科医師

主訴 左踵骨足底部の強い痛み、左外脛骨部痛

経過 数ヶ月前より左足部に痛みがあり、関節リウマチの疑いで採血検査を受けたが、抗CCP抗体・RF・ANA等は陰性であった。リウマチ専門医の受診を勧められ当クリニックを紹介され受診された。

診察所見：足趾・足関節の腫脹や疼痛は認めない。
疼痛部位は、外脛骨部と踵骨足底部であった。
特に、足底の痛みが強く、接地できないためつま先で歩行している。

レントゲン所見：明らかな骨折部は認めない。
MRI所見： 踵骨足底に疲労骨折所見を認めた。

※ MRI所見を説明したところ、接骨院で足底に体外衝撃波を受けてから、痛みが強くなったとの説明があった。

画像診断報告書							
ID	126124	氏名		性別	男性	生年月日	1993/02/14
検査日	2025/11/20	検査種	NR	部位	左足関節 単純		
記入日	2025/11/20 10:04:11			報告者	足利 竜一朗		
検査目的	しんとう整形外科・リウマチクリニック 神藤佳幸Dr.より依頼検査 左踵骨外側に強い圧痛あり、歩行時も痛みが強い。						
問診	外頭骨あり1週間前より左踵骨外側に痛みがでるようになった。歩行時に痛みが強い。						
所見	左踵骨外側下縁および隣接する軟部組織に脂肪抑制T2WI高信号を認めます。 足底筋膜の肥厚は指摘できません。 疲労骨折や骨挫傷を疑います。 副舟状骨（type 2）あり。骨髄浮腫は認めません。 その他に異常を認めません。						
診断	疲労骨折や骨挫傷疑い。						

